

登録コード	HB492300	開講年度	2026			
授業題目	腱靱帯末梢神経学特論				担当教員	高橋 淳 他
英文授業名	Tendon Ligament Peripheral Neurology				副担当	下平 浩揮・林 正徳・池上 章太・岡本 正則・大場 悠己
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
				授業形態	講義	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)	
	2026HB4年制加					
	【専攻】医学系や理工学系の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力				腱、靱帯、神経の疾患や外傷に関する臨床研究・基礎研究のテーマの選び方、研究目的、方法、結果のまとめ方、考察が書けるようになる。	
(2)詳細/Detailed information	腱、靱帯、神経の疾患や外傷に関する臨床研究・基礎研究のテーマの選び方、研究目的、方法、結果のまとめ方、考察の書き方について概説する。					
(3)授業の概要/Overview of course	腱・靱帯・末梢神経について、その解剖および主な疾患や外傷の診断と治療法について講義を行う。					
(4)授業計画/Course plan	(オムニバス方式/全 1 5 回) (高橋 淳/ 2 回) 末梢神経障害について (大場 悠己/ 3 回) 靱帯再建について (下平 浩揮/ 3 回) 腱疾患について (林 正徳/ 3 回) 腱の発生・分化のメカニズムについて (池上 章太/ 2 回) 神経外傷について (岡本 正則/ 2 回) 靱帯損傷について					
(5)成績評価の方法/Grading/evaluation method	自律的な知識獲得を実現する手法について理解できているかを発表資料 (3割)、プレゼンテーション (3割)、討論 (4割) で成績評価する。					
(6)成績評価の基準/Grading/evaluation criteria	得点法による評価基準は次の通りとする。 90%以上 秀、89～80% 優、79～70% 良、69～60% 可、59%以下 不可					
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容/Notes	英語文献調査後、文章資料・発表資料を英語で作成してもらいます。毎回の講義で、パソコンを用いてレポート (WORD, PPT等) を作成し、メールを用いて提出することが可能な環境を準備すること。					
(8)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	オフィスアワーは毎週変更されうるので、メール等での時間変更の後、居室まで来室のこと。 なお、授業中あるいは授業の直後は直接質問してもらって良いです。なお、開始前は授業準備で時間がとれないことが多いです。					
(9)授業の形式/Course format	パソコンを用いてレポートを作成し、メールを用いて提出することが可能な環境を準備すること。					
【教科書/Textbook(s)】	指定しない。					
【参考書/Reference work(s)】	指定しない。					